

報道関係者各位

2023年9月22日

株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス

デリバリー事業だからこそ安全運転を！宅配寿司「銀のさら」 安全運転を競う「SDA セーフティコンテスト」で団体総合優勝・個人優勝 秋の交通安全週間に向けクルーへの教育活動をご紹介します

株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：江見 朗）のグループ企業である株式会社ライドオンエクスプレス（以下：当社）は、2023年9月2日（土）に開催された「第24回 SDA セーフティコンテスト」にて、当社から出場した「銀のさらチーム」が団体総合優勝、個人優勝等の多数の良い成績を収めました。秋の交通安全週間にあたり、当社における交通安全への想いと、安全を第一に考えた教育活動をご紹介します。



■ 宅配の「安全運転」を競うセーフティコンテストで、団体総合優勝・個人優勝

毎年秋に開催されている、※全日本デリバリー業安全運転協議会・自動車安全運転センター共催、茨城県警察本部・一般財団法人全日本交通安全協会後援の『第24回 SDA セーフティコンテスト』は、今回で24回目となります。当社から出場した「銀のさらチーム」は例年に増して良い成績である団体総合優勝、多数の個人優勝という結果を出し、交通安全意識、運転技術の高さを示すことができました。

今年、協会創立30周年記念となった同コンテストは、デリバリー業界の交通安全意識および安全運転技術の向上を目的としており、SDA会員である各宅配チェーンがチームを作って参加し、4社50名の参加となりました。

※SDA（全日本デリバリー業安全運転協議会）とは

1993年に創立した、宅配業界の交通安全管理体制の向上を図り、事業の健全な発展を実現するとともに、社会に貢献することを目指す宅配業者の協議会です。

WEBサイト：<https://sda1.sakura.ne.jp/index.html>



セーフティコンテストの競技は、以下の4つの審査項目で行われます。

- | | |
|---------------|---|
| ① 学科筆記テスト | : 法令を中心とした基本的知識の習得状況を審査 |
| ② 法規走行競技 | : 決められたルートにおいて、交通法規を遵守しながら走行できるかを審査 |
| ③ 車両点検競技 | : 制限時間以内に、車両にある不具合を見つけられるかを審査 |
| ④ 中低速車両感覚走行競技 | : 課題（パイロンをすり抜ける等）に対して、技術を使いながら走行できるかを審査 |



学科筆記テストの様子



車両点検競技の様子



中低速車両感覚走行競技の様子

コンテスト出場にあたり、当社では事前に独自の全国大会を実施し、15名程度の参加者を決定します。その後、本番に向けた強化練習を実施し、コンテストに臨んでいます。

一 当社教育グループ SDA 担当者の想い（FC サポート部 FC 教育グループ 佐藤真一）

当社がこのコンテストに初めて参加した際、結果は“ビリ”でした。ですが、4年後に初めて優勝したことで、交通安全への意識が非常に高まりました。参加者も、それまでは新卒社員が出場していましたが、以降出場メンバーを選抜し、その為の講習を始めました。今では、チーム/ブランドとして、「勝ちたい」というよりも「良い成績を残したい」という想いが一番であり、他社の参加者に対してもライバルという意識ではなく、「安全運転」を一緒に極めることが大切だと感じています。安全は勝負ごとではありません。

一 コンテスト参加者の想い

初めて出場した際はあまり実感出来ていませんでしたが、本コンテストに参加することで、店舗運営のモチベーションにも繋がり、「店舗メンバーや仲間に喜んでほしい」という強いモチベーションに変わりました。優勝という素晴らしい結果を出せ、「来年以降もまたコンテストに参加したい」という想いも強くなりました。

■ ライドオンエクスプレスの安全の歴史と、現在の取組み

当社では、2011年頃まで配達運転におけるサポートがほとんどなく、事故後のサポート・ケアのみが中心となっていました。その後、更に事故が増え続ける状況に危機感を覚え、SDA に加盟し、事故防止策を立て、交通安全意識、安全運転技術の習得を積極的に実施するようになりました。

一 ライドオンエクスプレス 教育安全の基本行動

- ・アピアランスチェック
- ・安全運転6則の唱和
- ・プロテクター、ヘルメットの着用義務
- ・スタートアップ研修
- ・クルーコンテスト（企業独自開催兼予選会）
- ・追従講習（指導するための講習）、雪道講習（雪国の店舗で実施）
- ・安全運転実技講習会

一 ライドオンエクスプレス 配達運転時の安全運転 6 則

1. 安全速度を守ります
2. カーブでスピードを落とします
3. 一時停止で横断歩行者の安全を守ります
4. 車間距離を充分に取ります
5. 交差点では必ず安全を確かめます
6. 走行中はスマートフォンを利用しません

■ライドオンエクスプレスが考える安全への強い思い

当社では、「死亡事故を出さない」という強い思いのもと、「どこでも・誰でも・安全」を第一として、様々な安全教育の取組みを進めています。

また、今後更に伸長していくフードデリバリー業界において、今より一層配達員の安全や教育活動が重要視されていく中で、長年取り組んできたデリバリーの安全運転への想いを業界に「伝え続ける」ことを使命と考えています。

おいしさをお届けするフードデリバリーは、安全に商品をお届けしてこそ成り立ちます。当社では、今後もこの志を業界全体に繋いでいきたいと考えています。

【株式会社ライドオンエクスプレス 概要】

法人名： 株式会社ライドオンエクスプレス
代表者： 代表取締役社長 江見 朗
所在地： 〒108-6317 東京都港区三田 3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 17 階
電話： 03-5444-3850
設立： 2017 年 10 月
事業内容： フードデリバリー事業の運営及びフランチャイズチェーン店の加盟募集・指導業務
ホームページ： <https://www.rideonexpresshd.co.jp/about/rideonexpress.html>

【株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 概要】

法人名： 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス
代表者： 代表取締役社長 江見 朗
所在地： 〒108-6317 東京都港区三田 3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 17 階
電話： 03-5444-3850
設立： 2001 年 7 月
事業内容： フードデリバリーチェーンの経営管理業務
ホームページ： <https://www.rideonexpresshd.co.jp/>

本リリースに関するお問合せ

株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 広報

担当：小坂（携帯 080-7739-7129）

TEL：03-5444-3850 FAX：03-5444-3616

e-mail：koho@r-rideon.jp